



令和8年5月20日

愛知県建設業協会
中部地方整備局

「一目でわかる伝わる工事メッセージ大賞」表彰式のお知らせ ～愛知から発信！工事看板改革～

全国初の取組として、愛知県建設業協会と国土交通省中部地方整備局とが、令和7年12月18日から令和8年4月20日まで募集してきた「一目でわかる伝わる工事メッセージ大賞」に、120件（64者による120箇所の工事現場）の応募がありました。

この中から、『大賞』を1件、『優秀賞』を3件、『審査員特別賞』を5件、『子供向け部門賞』を1件選定し、5月29日にウィル愛知で表彰します。

日時 令和8年5月29日（金）15時30分から（1時間程度）

場所 ウィル愛知 2階 特別会議室

次第

1. 主催者挨拶（愛知県建設業協会）
2. 表彰状授与
3. 受賞者コメント
4. 主催者挨拶（中部地方整備局）
5. 記念撮影

※式典後に、大賞・子供向け部門賞受賞者ならびに主催者への、取材時間を設けさせていただきます。

配布先 中部地方整備局記者クラブ

問合せ先 愛知県建設業協会 専務理事 三宅 勝敏
TEL 052-242-4191

中部地方整備局企画部 課長 岩田 明
技術管理課 建設専門官 大鷲 浩己
TEL 052-953-8131（直通）

取材方法 取材を希望される報道関係者の方は、5月28日（木）12時までに、所属、氏名、連絡先（電話、メールアドレス）を【申込先】まで送信してください。（様式自由）

【申込先】 中部地方整備局企画部 技術管理課

メールアドレス cbr-gikan285@mlit.go.jp

■『一目でわかる伝わる工事メッセージ大賞』に込めた想い

インフラ（社会基盤）の整備については、周辺をはじめとした皆様からのご理解やご協力を得ずしては円滑に進めることができません。加えて、将来にわたってインフラを維持していくためには、技術者などの減少が大きな課題となっているところでもあり、インフラ整備や建設業の社会的意義を広く皆様にご理解いただくことにより、担い手の確保につなげていくことが必要となっています。

このため、道路や河川等の工事現場への設置することが定められている工事看板を、ご覧になる皆様との貴重なコミュニケーションの機会ととらえ、例えば「共同溝を構築しています」といった、場合によっては一般の方にはわかりにくいメッセージを「電線類を地中化し美しく地震に強い街にします」といったように、その工事の目的・意義や工事の内容が一目で伝わるように変えていこうという取り組みです。

賞の選定にあたっては、ことばの専門家である小林拓一郎氏（ラジオDJ）、小川涼子氏（中日新聞編集部記者）、西田かおり氏（椋山女学園大学大学非常勤講師）と、愛知県建設業協会会長、中部地方整備局長の5名が①工事内容と②工事目的（効果）のそれぞれについて、「伝えよう・理解してもらおうとしている意思意欲をメッセージから、それを見る側（道路利用者等）が感じられるかを基準に採点を行い、選定委員会を経て、大賞（1件）、子供向け部門賞1件、優秀賞3件、審査員特別賞5件を選定いたしました。

5月29日にウィル愛知で、受賞企業を発表するとともに表彰を行いますので、報道機関のみなさまにおかれましてはふるってご取材くださいますようお願いいたします。なお、大賞の受賞企業には、別途、中部地方整備局長へ「建設業の明るい未来づくりについて」の要望・意見を伝える機会を設けるとともに、その概要を整備局から発信させていただく予定です。

■開催概要

主催者：愛知県建設業協会、中部地方整備局
対象工事：愛知県内の中部地方整備局発注工事
対象看板：青白看板（1，100mm×1，400mm）
選定方法：委員（5人）が、「伝えよう・理解してもらおうとしている意思意欲をメッセージから見る側が感じられるか」について評価

■選定委員会 委員

小川 涼子	中日新聞社 記者
小林 拓一郎	ラジオビクター、とよかわ広報大使
高柳 充広	愛知県建設業協会 会長
西田 かおり	椋山女学園大学非常勤講師
森本 輝	中部地方整備局 局長

■経緯

令和7年12月17日	：第1回選定委員会（選定基準）（公開）
12月18日	：応募開始
令和8年4月20日	：応募〆切
4月28日	：第2回選定委員会（表彰者選定）（非公開）
5月29日	：表彰式（公開）